



鶴岡信用金庫

第184回
中小企業の

景気動向

2020年 4月~6月



2020年4月～6月期の景気の現状と2020年7月～9月期の見通し

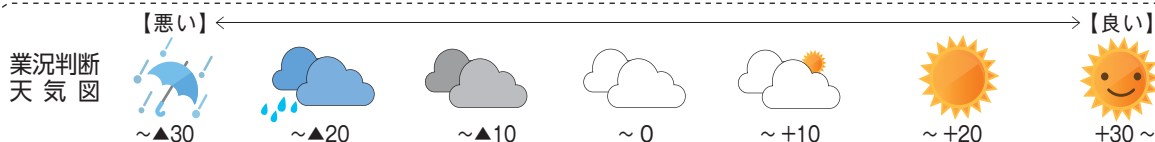
特別調査「新型コロナウイルスの感染拡大による中小企業への影響について」

目次

P01 概況
P03 製造業
P05 建設業
P07 卸売業
P09 小売業
P11 サービス業
P13 不動産業
P15 参考資料
P17 特別調査

凡例

1. 調査の目的 経済情勢の変化が激しい経営環境下における企業活動の実態をとらえ、今後の企業経営の資料として活用する。
2. 調査時点 2020年6月1日～5日
3. 調査内容 (イ) 業況判断 (今期の業況・来期の予想) (ロ) 売上・収益・価格の動き (ハ) 経営上の問題点 (ニ) 当面の重点経営施策
4. 調査先・業種と企業数 (庄内地区の中小企業のうち、当金庫取引先を主とした企業169社から、当金庫営業店の職員が共通の調査表に基づき聞き取りによる調査を実施したものです)
・製造業33社・小売業48社・建設業31社・サービス業27社・卸売業20社・不動産業10社
5. 分析方法 各質問項目について「良い(増加)・悪い(減少)」の構成比の差=判断指数・DI値を中心にして分析を行った。



2020 年 4 月～6 月期の景気の現状と 7 月～9 月期の見通し

回答企業169企業（回答率100%）の調査結果

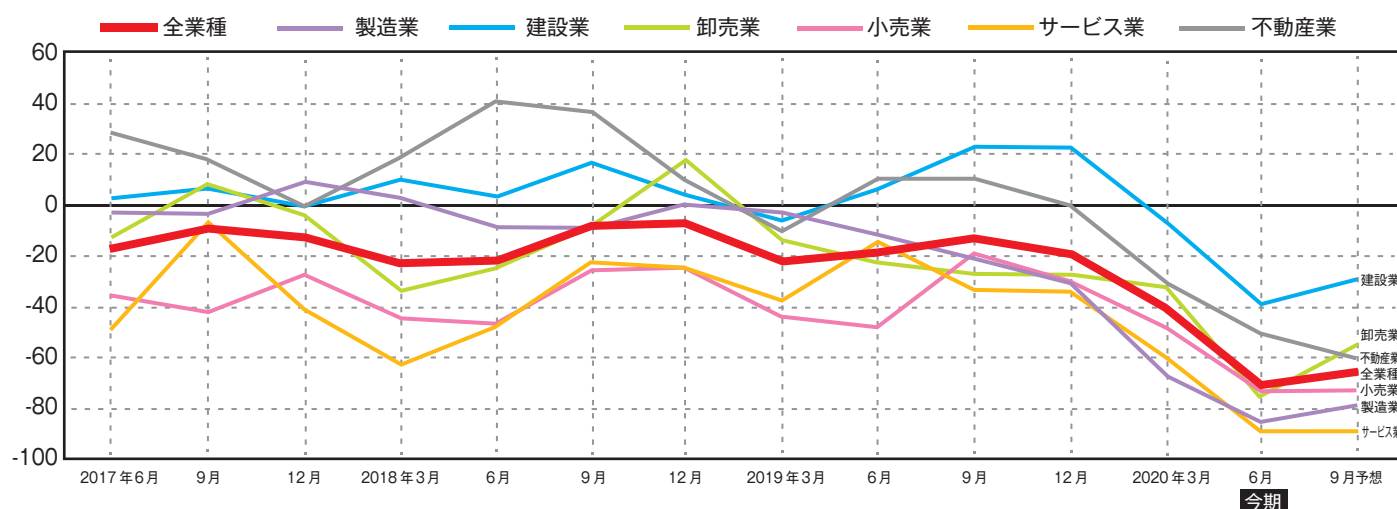
概況判断

景況感は大幅に悪化した

庄内地域全業種の 2020 年 4 月～6 月期の業況は、「**良い**」と回答した企業が 4.2 ポイント、「**悪い**」と回答した企業は 74.6 ポイントで、業況判断指数・D I 値（「**良い**」-「**悪い**」）は▲70.4 となり、前期（2020 年 1 月～3 月期）に比べ 29.6 ポイントの大幅な悪化となりました。

業種別の業況判断指数・D I 値（前期比）は、製造業▲84.9、建設業▲38.7、卸売業▲75.0、小売業▲72.9、サービス業▲88.9、不動産業▲50.0 となり、すべての業種において業況が大幅に悪化しました。

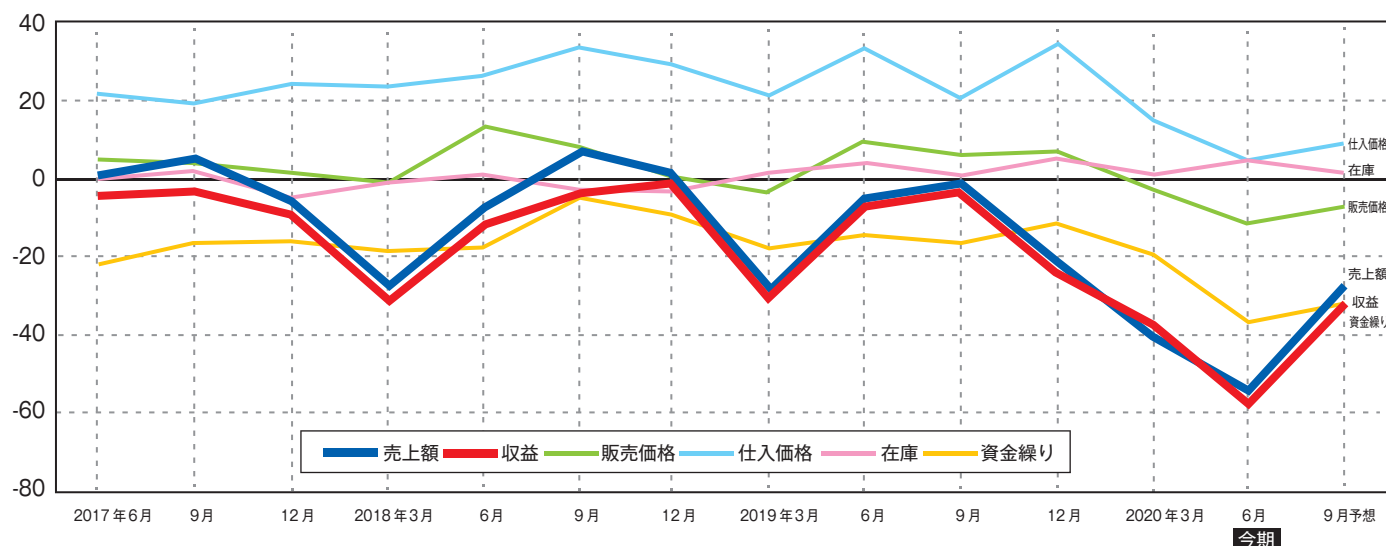
業況判断 [DI] 全業種



売上・収益・価格等の状況

業種に多少のよりばらつきはあるものの、全体的に「**売上額**」、「**収益**」、「**受注残**」D I とともに前期に比べ大きく悪化しました。業種別「**売上額**」では、製造業が D I 前期比▲33.3、建設業同▲19.3、卸売業同 15.1、小売業同▲8.4、サービス業同▲18.6、不動産業同▲30.0 と卸売業を除く業種で前期に比べ悪化しました。

業種別「**収益**」では、製造業が D I 前期比▲33.3、建設業同▲22.5、卸売業同▲8.2、小売業同▲20.8、サービス業同▲22.3、不動産業同▲10.0 と、全ての業種で対前期に比べ悪化しました。

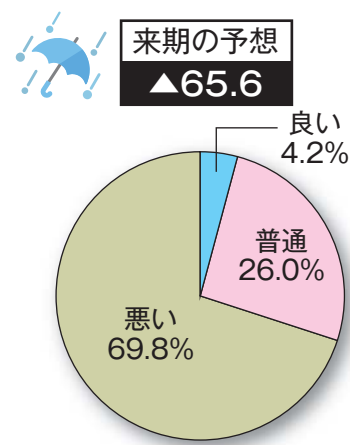
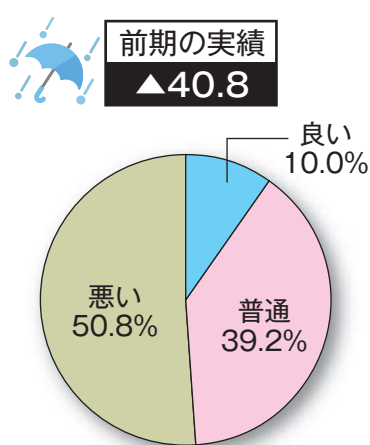
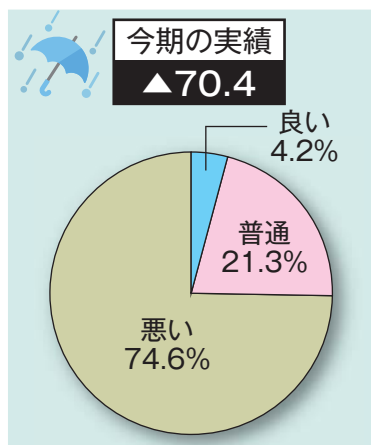


庄内地域全業種の2020年7月～9月期の業況見通しは、「良い」と回答した企業が4.2ポイント、「悪い」と回答した企業は69.8ポイントで、業況判断指数・DI値（「良い」-「悪い」企業割合）は▲65.6となり、今期（2020年4～6月期▲70.4）に比べ4.8ポイント改善するも、景況感を回復させるまでには至らないと見通しています。

業種別の予想業況判断指数・DI値（今期比）は、製造業+6.1、建設業+9.7、卸売業+20.0、小売業±0.0、サービス業±0.0、不動産業▲10.0となり、製造業・建設業・卸売業の業況は水面下ながら改善するも、小売業・サービス業の業況は改善しない。また不動産業の業況は今期に比べ一段と悪化すると見通しています。

業況判断指数(DI値)の動き

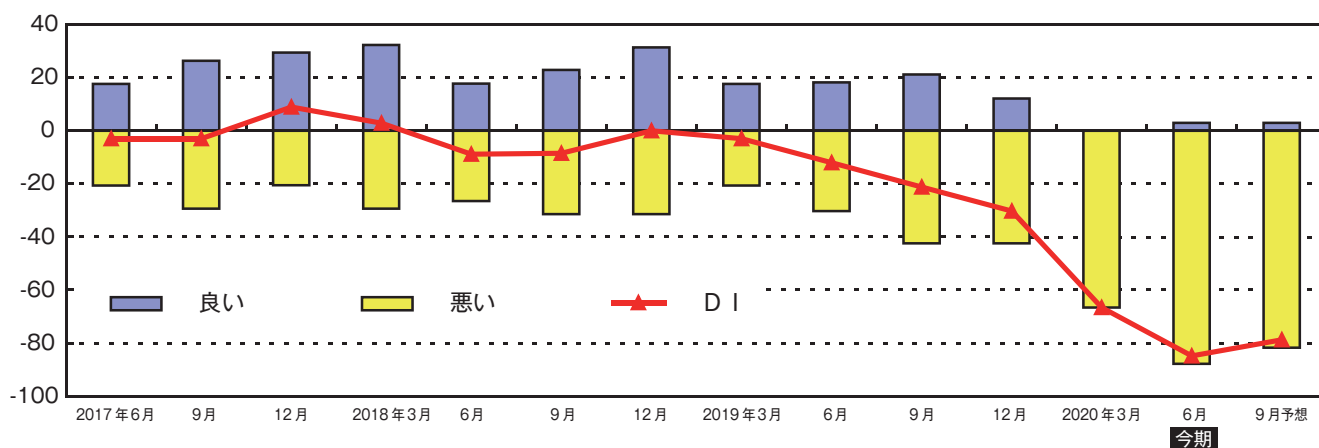
(業況判断 総合)



(%)

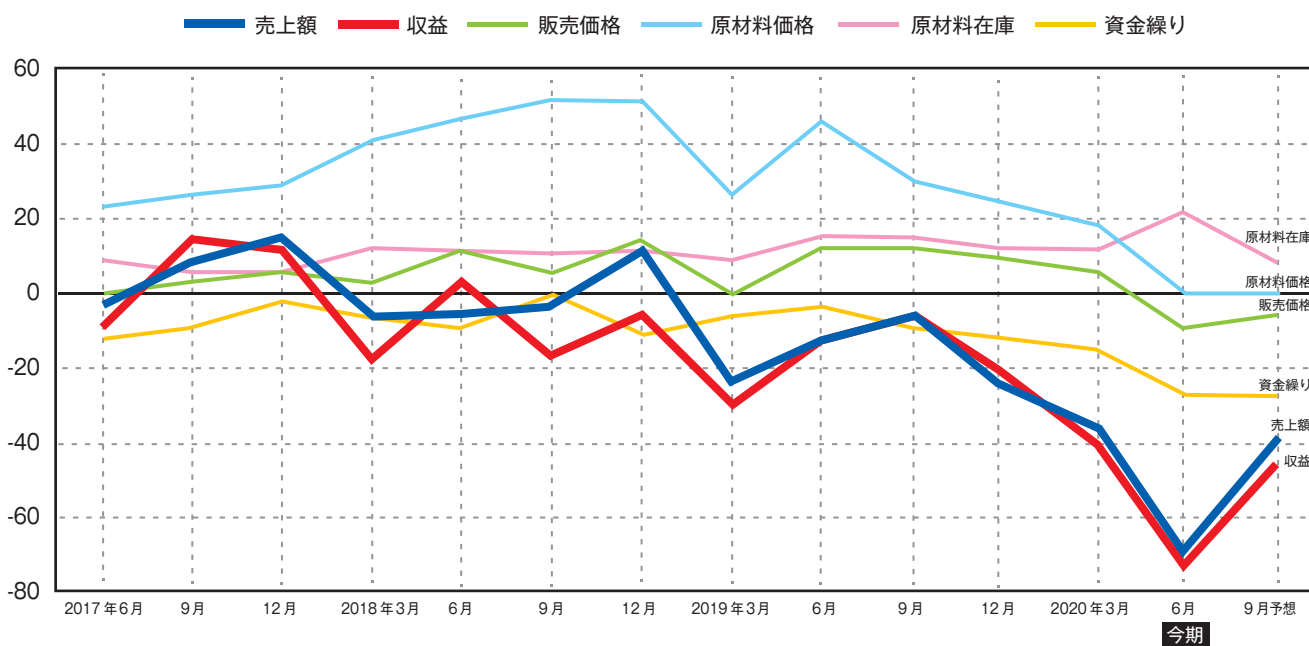
		今期の実績	前期比較	前期の実績	前期時の今期見込	今期見込比較	来期の予想	前年同期実績
業況判断 総合		▲70.4	▲29.6	▲40.8	▲41.0	▲29.4	▲65.6	▲19.2
内訳	良い	4.2		10.0	8.2	▲4.0	4.2	15.7
	普通	21.3		39.2	42.7	▲21.4	26.0	49.4
	悪い	74.6		50.8	49.2	25.4	69.8	34.9
売上額		▲55.0	▲14.6	▲40.4	▲11.8	▲43.2	▲27.8	▲5.2
収益		▲57.3	▲19.3	▲38.0	▲17.6	▲39.7	▲30.8	▲6.4
販売(請負)価格 料金		▲11.8	▲8.9	▲2.9	0.5	▲12.3	▲7.1	9.9
仕入・原材料価格		4.7	▲10.5	15.2	14.1	▲9.4	8.9	32.6
在庫		4.2	3.5	0.7	▲2.0	6.2	1.4	4.2
内訳	過剰	16.9		10.4	7.0		12.0	11.1
	適正	70.4		79.9	84.0		77.5	82.1
	不足	12.7		9.7	9.0		10.6	6.9
資金繰り		▲36.7	▲16.9	▲19.8	▲21.6	▲15.1	▲32.0	▲14.5
残業時間		▲40.8	▲21.5	▲19.3	▲17.5	▲23.3	▲24.8	▲14.5
人手		▲3.5	17.0	▲20.5	▲24.6	21.1	▲11.3	▲22.7
設備投資		▲12.5	3.7	▲16.2	▲15.5	3.0	▲15.1	▲16.8
内訳	過剰	5.7		3.7	3.7		4.4	2.4
	適正	76.1		76.4	77.0		76.1	78.3
	不足	18.2		19.9	19.2		19.5	19.2

概況判断 前期に比べ業況はさらに落ち込みした



今期の業況判断は、「良い」と回答した企業が3.0ポイント、「悪い」と回答した企業は87.9ポイントで、業況D I（「良い」－「悪い」）は▲84.9となり、前期（▲66.6）に比べ（▲18.3ポイント）マイナス幅が拡大しました。来期（2020年7～9月）の予想D Iは▲78.8で、今期に比べマイナス幅が（6.1ポイント）改善するも、引き続き厳しい業況が続くと見通しています。

売上・収益・価格等の状況



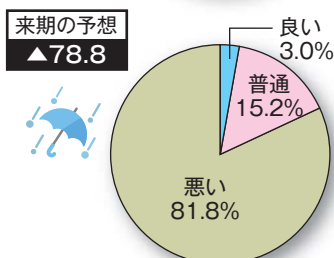
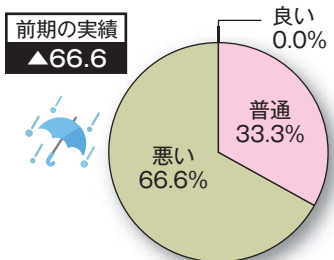
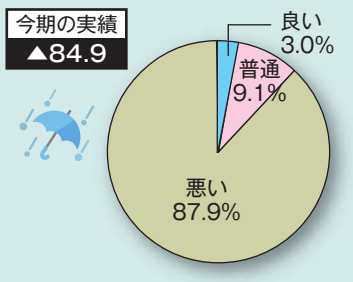
前期（2020年1～3月）に比べ、「売上額」、「収益」とともに大きく悪化しました。「販売価格」は下降に転じ、「原材料価格」の上昇は弱まりました。「原材料在庫」は過剰感が強まり、「資金繰り」の窮屈感が強まりました。

来期の見通し

来期（2020年7月～9月）は、「売上額」、「収益」共にマイナスながら大幅に改善すると見通しています。「原材料価格」の上昇が引き続き抑えられる状況の中で、「販売価格」の下降幅は縮小すると見通しています。今期は大きく荷もたれた「原材料在庫」の過剰感は和らぐと見通しています。厳しい状況が続く資金繰りについては、来期も改善しないと見通しています。

業況判断指数(DI値)の動き

(業況判断)



		今期の実績	前期比較	前期の実績	前期時の今期見込	今期見込比較	来期の予想	前年同期実績
業況判断 総合		▲84.9	▲18.3	▲66.6	▲42.4	▲42.5	▲78.8	▲12.1
内訳	良い	3.0		0.0	3.0		3.0	18.2
	普通	9.1		33.3	51.5		15.2	51.5
	悪い	87.9		66.6	45.4		81.8	30.3
売 上		▲69.7	▲33.3	▲36.4	▲27.2	▲42.5	▲39.3	▲12.1
受注残		▲66.6	▲30.3	▲36.3	▲27.2	▲39.4	▲42.4	3.0
収 益		▲72.7	▲33.3	▲39.4	▲27.2	▲45.5	▲45.4	▲12.2
販売価格		▲9.1	▲15.2	6.1	▲6.1	▲3.0	▲6.0	12.2
原材料価格		0.0	▲18.2	18.2	6.0	▲6.0	0.0	45.5
原材料在庫		21.2	▲12.1	12.1	6.1	15.1	9.1	15.1
内訳	過剰	27.3		15.1	9.1		12.1	15.1
	適正	66.7		81.8	87.9		84.8	84.9
	不足	6.1		3.0	3.0		3.0	0.0
資金繰り		▲27.2	▲12.1	▲15.1	▲18.2	▲9.0	▲27.2	▲3.0
残業時間		▲63.6	▲39.4	▲24.2	▲36.4	▲27.2	▲45.4	▲15.0
人手		6.0	30.2	▲24.2	▲30.4	36.4	0.1	▲30.2
設備投資		▲12.1	0.0	▲12.1	▲15.1	3.0	▲9.0	▲27.3
内訳	過剰	9.1		9.1	6.1		12.2	3.0
	適正	69.7		69.7	72.7		66.7	66.7
	不足	21.2		21.2	21.2		21.2	30.3

経営上の問題点・重点施策

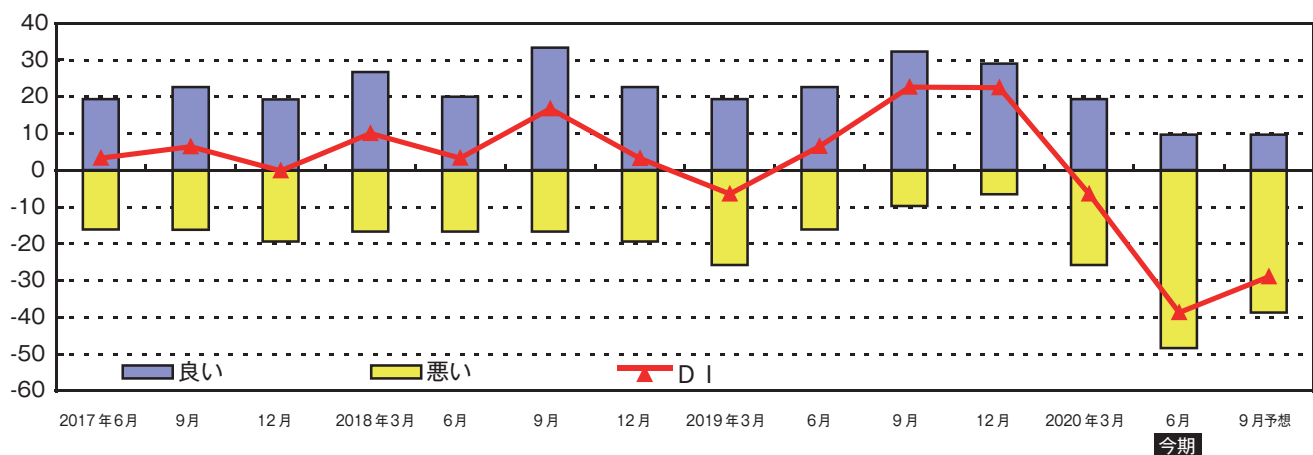
経営上の問題点（上位 5 位）（%）			
	項 目	前 期	今 期
1	売上の停滞・減少	60.6	75.8
2	工場・機械の狭小・老朽化	24.2	24.2
3	利幅の縮小	18.2	21.2
4	人手不足	33.3	18.2
5	同業者間の競争激化	9.1	15.2

当面の重点施策（上位 5 位）（%）			
	項 目	前 期	今 期
1	販路を広げる	57.6	54.5
2	経費を節減する	42.4	45.5
3	人材を確保する	42.4	21.2
3	新製品・技術を開発する	18.2	21.2
5	機械化を推進する	15.2	18.2

調査員のコメント

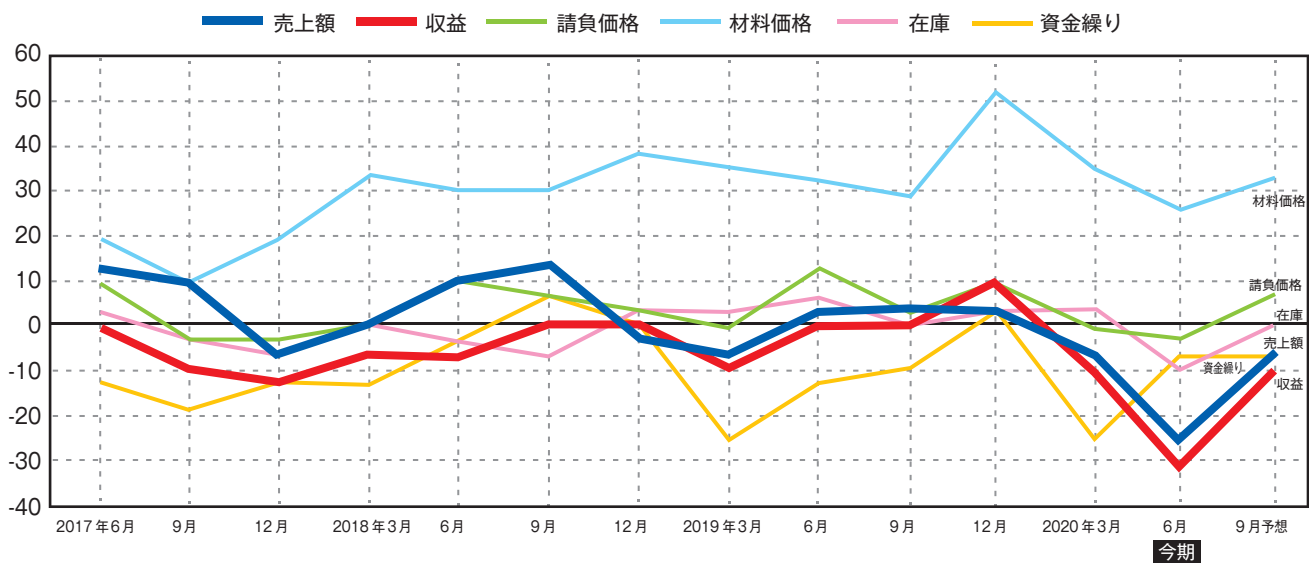
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各種イベントなどが中止になったことから印刷物等の受注が大幅に減少した。多くの人数が集まるイベント等は秋頃まで自粛となることが予想され、厳しい経営状況が続く見通しです。
(出版・印刷・同関連産業)
- 新型コロナウイルス感染拡大により、飲食店向け加工品の売上げが落ち込んだのに対して、食品小売店向けの販売が増加したが、飲食店向け販売の落込み分をカバーする状況には至っていない。
(食料品製造業)
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、主要取引先であるデパート等からの受注が減少したことにより、現在、週休3日体制で工場を稼働している。影響が長期化することが予想されることから、各種対策制度を積極的に利用することで乗り切っていきたいと考えている。
(衣服・その他の繊維製品製造業)
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、売上の減少が続いている。新たな取引先の確保に重点的に取り組むと共に、従業員の勤務体制見直しを積極的に行うことで収益の確保に努めている。
(建設用金属製品製造業)

概況判断 業況の悪化幅が拡大した



今期の業況判断は、「**良い**」と回答した企業が9.7ポイント、「**悪い**」と回答した企業は48.4ポイントで、業況D I（「**良い**」－「**悪い**」）は▲38.7となり、前期（▲6.4）に比べ大きく（▲32.3ポイント）マイナス幅が拡大しました。来期（2020年7～9月）の予想D Iは▲29.0で、今期に比べ9.7ポイント改善し、業況はマイナスながら改善すると見通しています。

売上・収益・価格等の状況



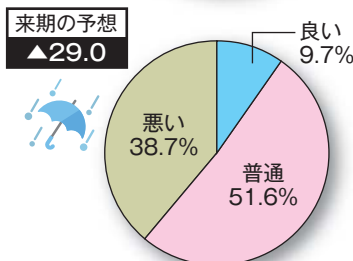
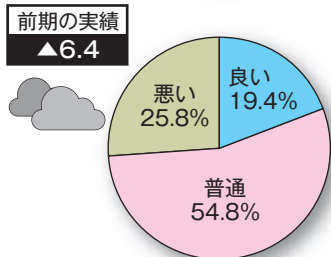
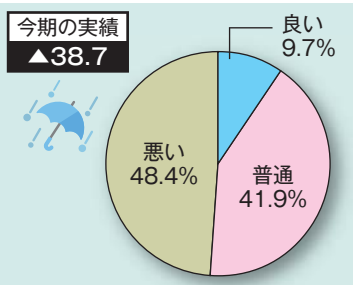
前期（2020年1～3月）に比べ、「**売上額**」、「**収益**」ともに大きく悪化しました。「**請負価格**」の下降幅が拡大するも、「**材料価格**」の上昇幅も弱まりました。在庫については過剰から品薄に転じ、資金繰りについては前期に比べ窮屈感が緩和しました。

来期の見通し

来期（2020年7～9月）は、「**売上額**」予想D I、「**収益**」予想D Iは水面下ながら改善すると見通しています。請負価格は好転するも、材料価格の上昇も強まると予想しています。また、「**在庫**」の品薄感は解消されるものの「**資金繰り**」は改善しないと見通しています。

業況判断指数(DI値)の動き

(業況判断)



		今期の実績	前期比較	前期の実績	前期時の今期見込	今期見込比較	来期の予想	前年同期実績
業況判断 総合		▲38.7	▲32.3	▲6.4	16.1	▲54.8	▲29.0	6.5
内訳	良い	9.7		19.4	35.5		9.7	22.6
	普通	41.9		54.8	45.2		51.6	61.3
	悪い	48.4		25.8	19.4		38.7	16.1
売上高		▲25.8	▲19.3	▲6.5	▲19.3	▲6.5	▲6.6	3.2
受注残		▲25.8	▲9.7	▲16.1	▲6.5	▲19.3	0.0	0.0
施工高		▲25.9	▲22.7	▲3.2	▲13.0	▲12.9	6.3	3.3
収益		▲32.2	▲22.5	▲9.7	▲6.4	▲25.8	▲9.6	▲0.1
請負価格		▲3.2	▲3.1	▲0.1	3.2	▲6.4	6.5	13.0
材料価格		25.8	▲9.7	35.5	48.4	▲22.6	32.3	32.3
在庫		▲9.7	▲12.9	3.2	▲3.3	▲6.4	0.0	6.5
内訳	過剰	0.0		3.2	3.2		9.7	6.5
	適正	90.3		96.8	90.3		80.6	93.5
	不足	9.7		0.0	6.5		9.7	0.0
資金繰り		▲6.5	19.3	▲25.8	▲6.4	▲0.1	▲6.5	▲12.9
残業時間		▲38.8	▲22.7	▲16.1	▲6.5	▲32.3	▲3.3	▲22.6
人手		▲19.3	13.0	▲32.3	▲35.4	16.1	▲32.3	▲25.9
設備投資		▲3.2	3.2	▲6.4	▲6.5	3.3	▲6.5	▲3.2
内訳	過剰	6.5		0.0	0.0		3.2	3.2
	適正	83.9		93.5	93.5		87.1	90.3
	不足	9.7		6.4	6.5		9.7	6.4

経営上の問題点・重点施策

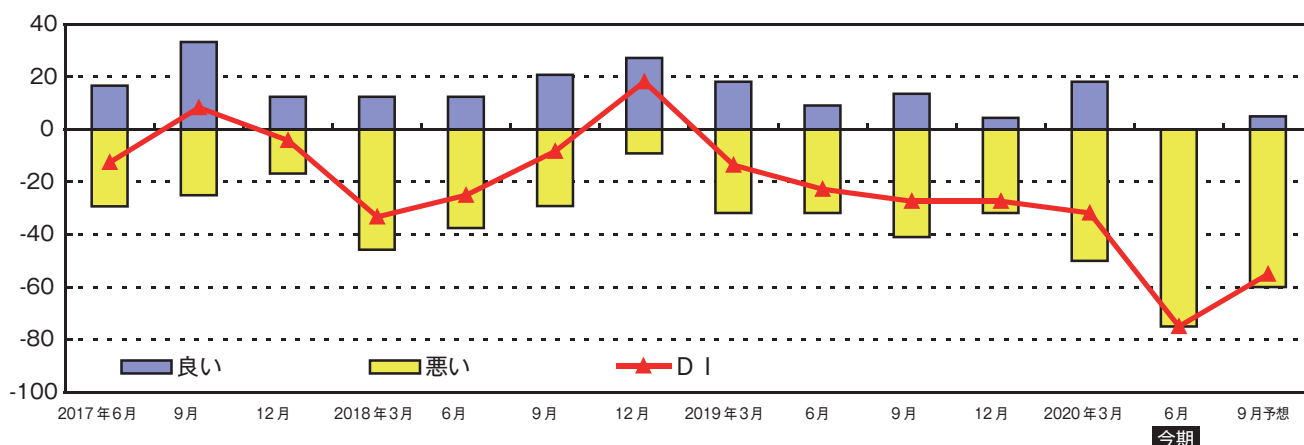
経営上の問題点（上位 5 位）（%）			
	項 目	前 期	今 期
1	売上の停滞・減少	35.5	45.2
2	利幅の縮小	29.0	32.3
3	人手不足	45.2	29.0
4	同業者間の競争激化	19.4	25.8
5	人件費の増加	22.6	22.6

当面の重点施策（上位 5 位）（%）			
	項 目	前 期	今 期
1	人材を確保する	48.4	51.6
2	販路を広げる	45.2	41.9
2	技術力を高める	45.2	41.9
2	経費を節減する	35.5	41.9
5	情報力を強化する	25.8	22.6

調査員のコメント

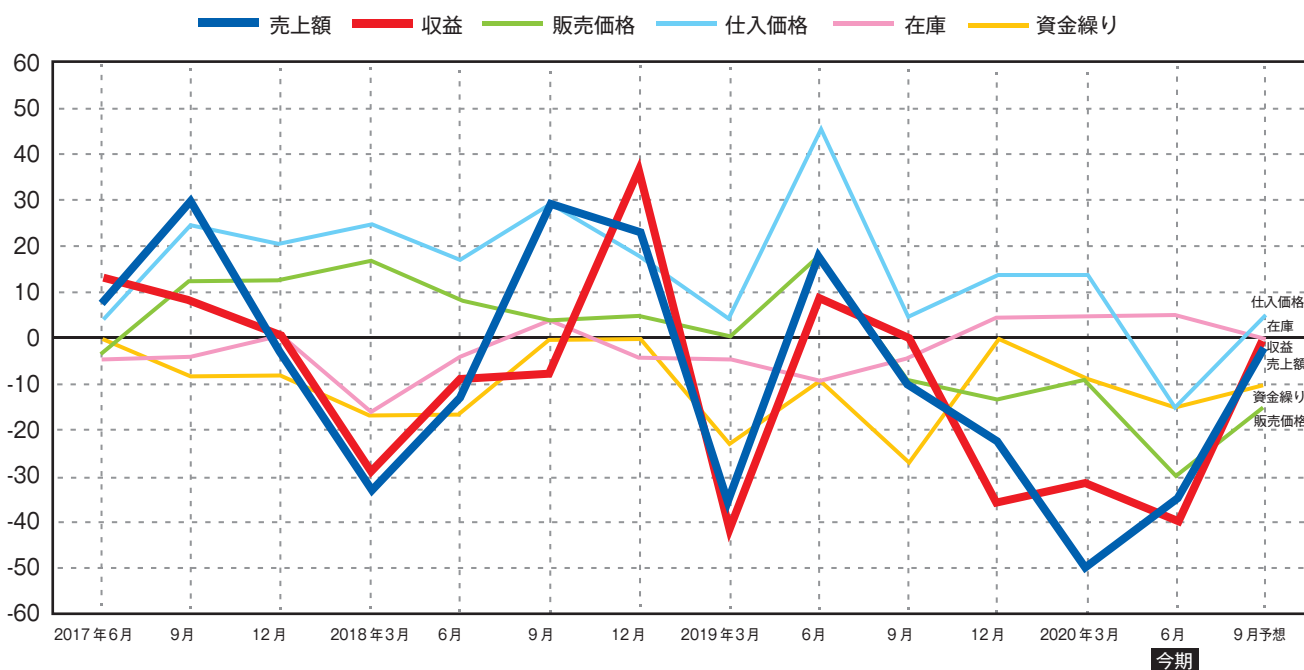
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、中国から輸入している建設部材や住宅機器等が入ってこない状況が続く工期が大幅に遅延している。今後第2波、第3波の到来も予想されており、国内製造機器等の仕入などを考えて行かなければならないと考えている。（設備工事業）
- 新型コロナウイルス感染拡大による影響はなく当面の受注も確保している。但し、今後の受注工事などで長期間にわたって新型コロナウイルスの影響が出てくるのではないかと心配している。（総合建設業）
- 売上高は対前年比で増加しているが、民間からの住宅建築受注において今後の影響を心配している。受注量に対して人手が足りない状況が続いており、積極的な人材確保に努めたいと考えている。（総合建設業）
- これまでは新型コロナウイルス感染拡大の影響は感じていない。住宅メーカーや住宅展示場のイベントが中止になっており、個人のお客様の住宅新築意欲も下がっている。今後、国内外の経済状況が冷え込む中で、住宅建築を取り巻く環境も厳しい状況になると見込んでいる。（総合建設業）

概況判断 業況は大きく悪化した



今期の業況判断は、「**良い**」と回答した企業が0.0ポイント、「**悪い**」と回答した企業は75.0ポイントで、業況D I（「**良い**」－「**悪い**」）は▲75.0となり、前期（▲31.8）に比べ（▲43.2ポイント）マイナス幅が拡大しました。来期（2020年7～9月）の予想D Iは▲55.0で、今期に比べマイナス幅が（20.0ポイント）改善し、業況の悪化幅は縮小すると見通しています。

売上・収益・価格等の状況



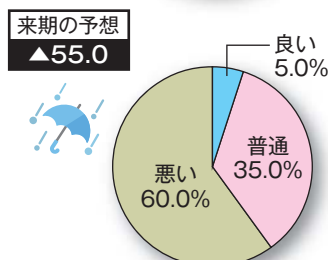
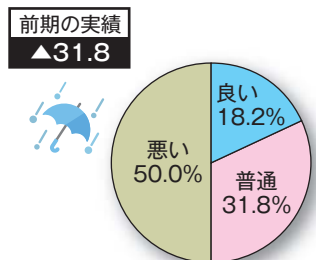
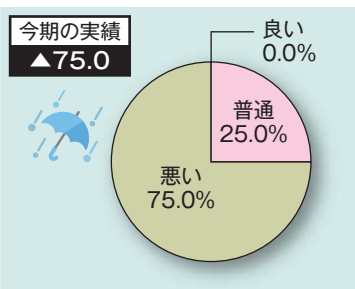
前期（2020年1月～3月）に比べ、「**売上額**」はやや改善しましたが、「**収益**」はマイナス幅が拡大しました。「**販売価格**」はさらに下降したものの、「**仕入価格**」は上昇から下降に転じました。「**在庫**」過多の状況は改善ならなかったほか、「**資金繰り**」の窮屈感が強まりました。

来期の見通し

来期（2020年7～9月）は、「**売上額**」、「**収益**」ともに改善し、水面下を脱すると見通しています。「**販売価格**」の下降幅が弱まるものの、「**仕入価格**」は上昇に転じると見通しています。また、来期は「**在庫**」過多の状況が改善され、「**資金繰り**」についても窮屈感が緩和すると見通しています。

業況判断指数(DI値)の動き

(業況判断)



		今期の実績	前期比較	前期の実績	前期時の今期見込	今期見込比較	来期の予想	前年同期実績
業況判断 総合		▲75.0	▲43.2	▲31.8	▲36.4	▲38.6	▲55.0	▲22.7
内訳	良い	0.0		18.2	13.6		5.0	9.1
	普通	25.0		31.8	36.4		35.0	59.1
	悪い	75.0		50.0	50.0		60.0	31.8
売上額		▲35.0	15.1	▲50.1	▲4.5	▲30.5	0.0	18.1
収益		▲40.0	▲8.2	▲31.8	▲18.2	▲21.8	0.0	9.1
販売価格		▲30.0	▲20.9	▲9.1	18.2	▲48.2	▲15.0	18.2
仕入価格		▲15.0	▲28.7	13.7	18.2	▲33.2	5.0	45.5
在庫		5.0	0.4	4.6	0.1	4.9	0.0	▲9.1
内訳	過剰	15.0		13.6	9.1		5.0	0.0
	適正	75.0		77.3	81.8		90.0	90.9
	不足	10.0		9.0	9.0		5.0	9.1
資金繰り		▲15.0	▲5.9	▲9.1	▲13.6	▲1.4	▲10.0	▲9.1
残業時間		▲15.0	26.0	▲41.0	▲13.6	▲1.4	▲10.0	▲27.3
人手		▲5.0	8.6	▲13.6	▲22.7	17.7	▲15.0	▲9.1
設備投資		▲25.0	▲2.3	▲22.7	▲22.7	▲2.3	▲20.0	▲13.6
内訳	過剰	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0
	適正	75.0		77.3	77.3		80.0	86.4
	不足	25.0		22.7	22.7		20.0	13.6

経営上の問題点・重点施策

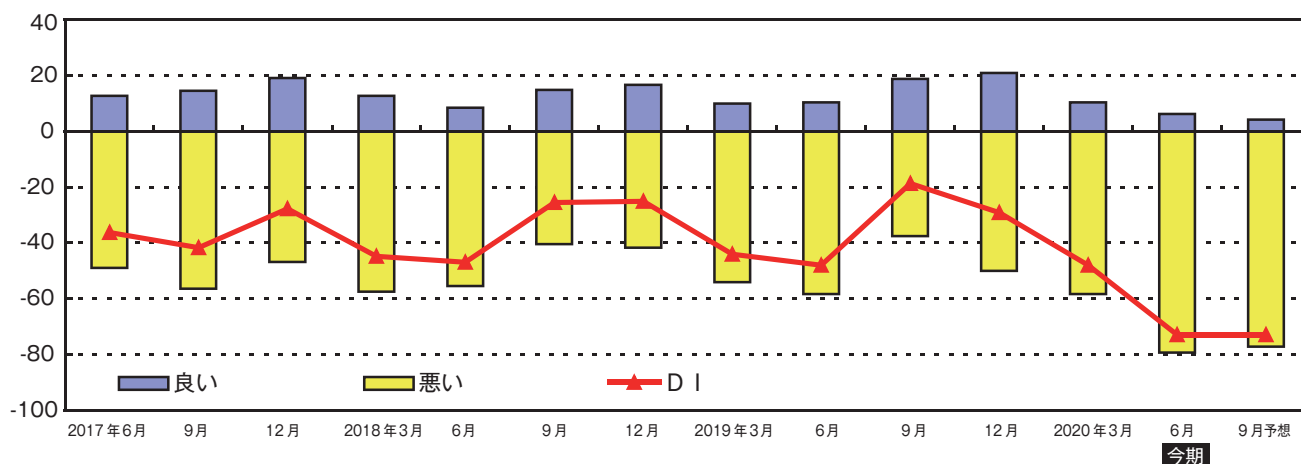
経営上の問題点（上位 5 位）（%）			
	項 目	前 期	今 期
1	売上の停滞・減少	68.2	65.0
2	同業者間の競争激化	36.4	30.0
3	利幅の縮小	18.2	25.0
4	人件費の増加	18.2	15.0
5	人手不足	18.2	10.0

当面の重点施策（上位 5 位）（%）			
	項 目	前 期	今 期
1	経費を節減する	36.4	60.0
2	販路を広げる	50.0	45.0
2	情報力を強化する	45.5	45.0
4	人材を確保する	31.8	25.0
5	新しい事業を始める	9.1	10.0

調査員のコメント

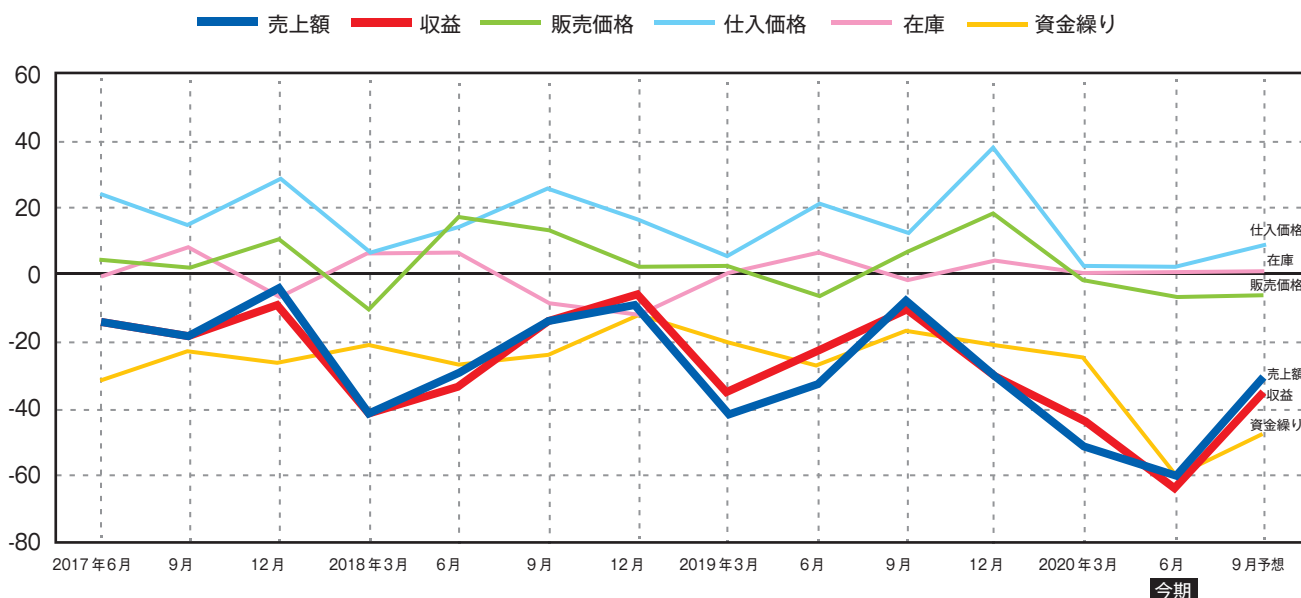
- コロナウイルス感染拡大により、全国を訪ねる営業活動を自粛したことで売上高にも影響が出た。良質な中古農機を在庫として確保しているが、国内販売が低調に推移すると予想しており、中国向け販売の比率を上げていくことを計画している。
(機械器具卸売業)
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、他県からの来店客が大幅に減少した。また、卸売部門において、温泉旅館や飲食業への売上げが大幅に減少したことで、当初の予想以上に売上高が減少した。自粛解除後の早い段階で業況が好転することを期待している。
(農畜産物・水産物卸売業)
- 全世界的な景気低迷から鉄相場が大幅に下落し、営業赤字幅が拡大している。現状、少しずつ回復基調が見えてきたが、当面は厳しい経営環境が続くことを見通している。
(再生資源卸売業)

概況判断 業況はさらに落ち込みした



今期の業況判断は、「良い」と回答した企業が6.3ポイント、「悪い」と回答した企業は79.2ポイントで、業況D I（「良い」－「悪い」）は▲72.9となり、前期（▲47.9）に比べ大きく（▲25.0ポイント）マイナス幅が拡大しました。来期（2020年7～9月）の予想D Iは▲72.9で、今期と同率になり、業況は改善しないと見通しています。

売上・収益・価格等の状況



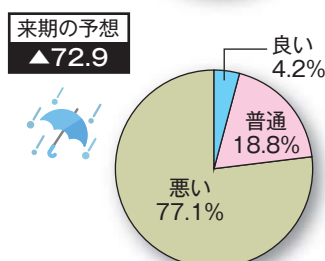
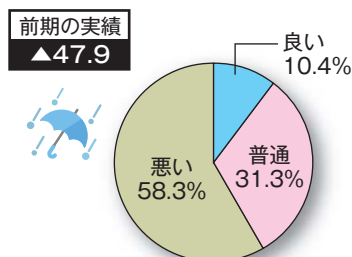
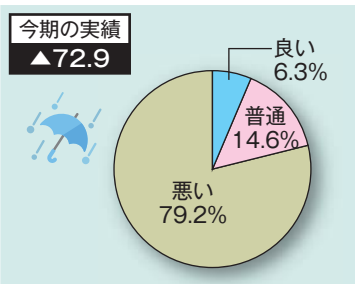
前期（2020年1～3月）に比べ、「売上額」、「収益」とともに大きく悪化しました。「販売価格」は前期に比べ下降幅が拡大するも、「仕入価格」は前期と同率となり変動ありませんでした。「商品在庫」については良好な状況が続いているも、「資金繰り」の窮屈感は一段と強まりました。

来期の見通し

来期（2020年7～9月）は、「売上額」、「収益」とともにマイナスながら大きく改善すると見通しています。「販売価格」は同率となり、変動しないと見通しており、「仕入価格」の上昇幅は拡大すると見通しています。「商品在庫」については、引き続き良好な状況が続くと予想しており、「資金繰り」については、マイナスながら窮屈感はやや和らぐと見通しています。

業況判断指数(DI 値)の動き

(業況判断)



	今期の実績	前期比較	前期の実績	前期時の今期見込	今期見込比較	来期の予想	前年同期実績
業況判断 総合	▲72.9	▲25.0	▲47.9	▲56.2	▲16.7	▲72.9	▲47.9
内訳	良い	6.3	10.4	4.2		4.2	10.4
	普通	14.6	31.3	35.4		18.8	31.3
	悪い	79.2	58.3	60.4		77.1	58.3
売上額	▲60.4	▲8.4	▲52.0	▲20.8	▲39.6	▲31.2	▲33.4
収益	▲64.6	▲20.8	▲43.8	▲18.7	▲45.9	▲35.4	▲22.9
販売価格	▲6.3	▲4.2	▲2.1	▲6.3	0.0	▲6.3	▲6.3
仕入価格	2.1	0.0	2.1	0.0	2.1	8.3	20.8
在庫	0.0	0.0	0.0	▲4.1	4.1	0.0	6.2
内訳	過剰	20.9	12.5	8.4		16.7	18.8
	適正	58.3	75.0	79.2		66.7	68.8
	不足	20.9	12.5	12.5		16.7	12.6
資金繰り	▲60.4	▲35.4	▲25.0	▲31.2	▲29.2	▲48.0	▲27.1
残業時間	▲29.2	▲22.9	▲6.3	▲6.3	▲22.9	▲18.8	▲8.3
人手	▲6.2	8.3	▲14.5	▲14.6	8.4	▲4.1	▲14.6
設備投資	▲12.5	0.0	▲12.5	▲16.7	4.2	▲14.5	▲10.4
内訳	過剰	2.1	2.1	2.1		2.1	4.2
	適正	83.3	83.3	79.2		81.3	81.3
	不足	14.6	14.6	18.8		16.6	14.6

経営上の問題点・重点施策

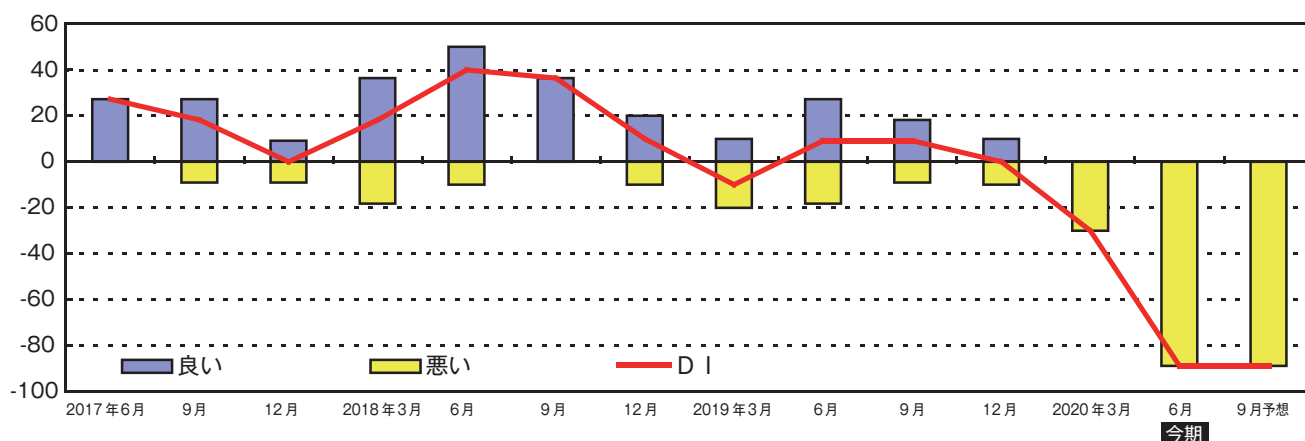
経営上の問題点（上位 5 位）（%）			
	項 目	前 期	今 期
1	売上の停滞・減少	50.0	62.5
2	利幅の縮小	8.3	25.0
3	商店街の集客力の低下	16.7	22.9
4	その他（新型コロナ対応）	8.3	18.8
5	大型店との競争激化	27.1	16.7

当面の重点施策（上位 5 位）（%）			
	項 目	前 期	今 期
1	経費を節減する	60.4	50.0
2	品揃えを改善する	12.5	18.8
2	宣伝・広告を強化する	18.8	18.8
2	売れ筋商品を取り扱う	31.3	18.8
5	教育訓練を強化する	18.8	14.6

調査員のコメント

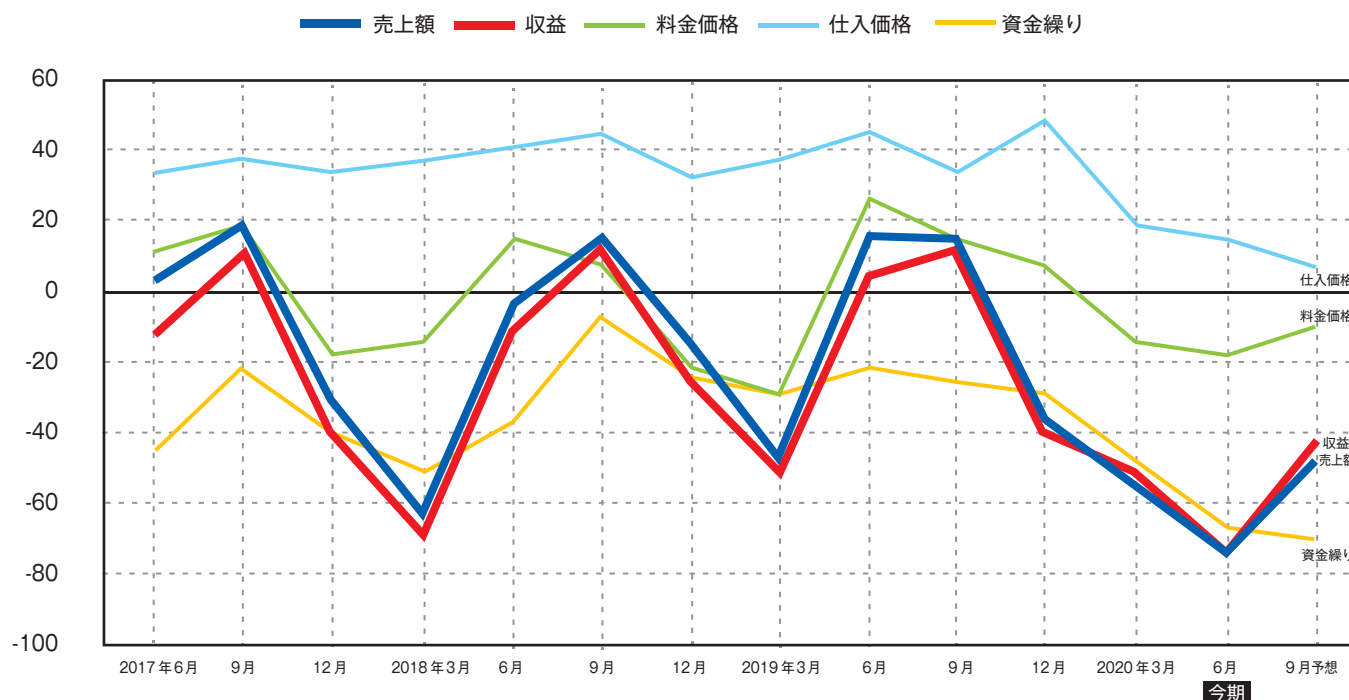
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、毎年春期に開催していたセールや催事を中止した。例年に比べ来店客も少なく、売上高・収益ともに大幅に減少した。営業時間の短縮やパート従業員の勤務時間調整等を行うことで経費削減に取り組んでいるが、資金繰りに支障をきたしている状況にある。
(繊維物・衣服・身のまわり品小売業)
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、日用生活用品等の売上げが大幅に伸びて業況は良化した。地域内に新たなホームセンターが新規オープンしたことで同業者間の競争はさらに激しくなると考えている。地元業者として他店と差別化を図った地元密着の戦略を検討している。
(衣服・身の回り品小売業)
- 新型コロナウイルス感染拡大防止により、温泉旅館が営業自粛したことで売上は大幅に減少した。地域内の温泉旅館の営業は再開したが、予約の状況は例年に比べまだまだ少ない状況である。観光客をメインターゲットにしている営業であり、観光客の流入回復を期待している。
(飲食店)
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、予定していた展示会を中止した。また、訪問営業による販売をメインとしていることから、営業機会が減少していることが今後の不安材料となっている。営業活動が減少したことから、これまで以上に教育訓練・営業社員のモチベーションアップに注力し、先を見据えた取組を行っている。
(家庭用機械・電気機械器具小売業)

概況判断 業況の悪化幅がさらに拡大した



今期の業況判断は、「良い」と回答した企業は無く、「悪い」と回答した企業は88.9ポイントで、業況DI（「良い」－「悪い」）は▲88.9となり、前期（▲59.2）に比べ（▲29.7ポイント）マイナス幅が拡大しました。来期（2020年7～9月）の予想DIは▲88.9で、今期と同率になり、業況の悪化は改善しないと見通しています。

売上・収益・価格等の状況



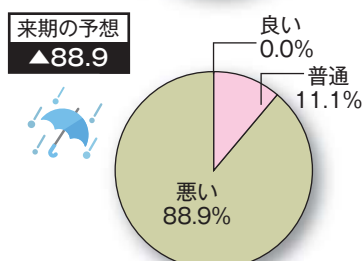
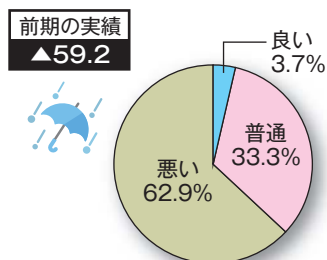
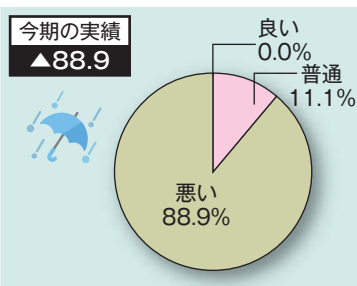
前期（2020年1～3月）に比べ、「売上額」、「収益」とともに大きく悪化しました。「料金価格」は前期に比べ下降幅が拡大するも、「材料価格」は前期に比べプラス幅が縮小し、改善しました。「資金繰り」については、前期に比べ窮屈感が強まりました。

来期の見通し

来期（2020年7～9月）は、「売上額」、「収益」共にマイナスながら改善すると見通しています。価格については、「料金価格」は今期に比べ下降幅が弱まると見通しており、「材料価格」の上昇幅は縮小すると見通しています。「資金繰り」については、今期に比べ窮屈感が更に強まると見通しています。

業況判断指数(DI 値)の動き

(業況判断)



		今期の実績	前期比較	前期の実績	前期時の今期見込	今期見込比較	来期の予想	前年同期実績
業況判断 総合		▲88.9	▲29.7	▲59.2	▲66.6	▲22.3	▲88.9	▲14.8
内訳	良い	0.0		3.7	0.0		0.0	14.8
	普通	11.1		33.3	33.3		11.1	55.6
	悪い	88.9		62.9	66.6		88.9	29.6
売上額		▲74.1	▲18.6	▲55.5	▲7.4	▲66.7	▲48.1	14.8
収益		▲74.1	▲22.3	▲51.8	▲18.5	▲55.6	▲44.4	3.7
料金価格		▲18.5	▲3.7	▲14.8	▲3.7	▲14.8	▲11.1	25.9
材料価格		14.8	▲3.7	18.5	18.5	▲3.7	7.4	44.4
資金繰り		▲66.6	▲18.5	▲48.1	▲51.8	▲14.8	▲70.3	▲22.2
残業時間		▲66.7	▲18.6	▲48.1	▲22.2	▲44.5	▲51.8	▲11.1
人手		7.4	22.2	▲14.8	▲25.9	33.3	▲14.8	▲29.6
設備投資		▲14.8	25.9	▲40.7	▲25.9	11.1	▲29.6	▲33.3
内訳	過剰	11.1		0.0	3.7		3.7	0.0
	適正	63.0		59.3	66.7		63.0	66.7
	不足	25.9		40.7	29.6		33.3	33.3

経営上の問題点・重点施策

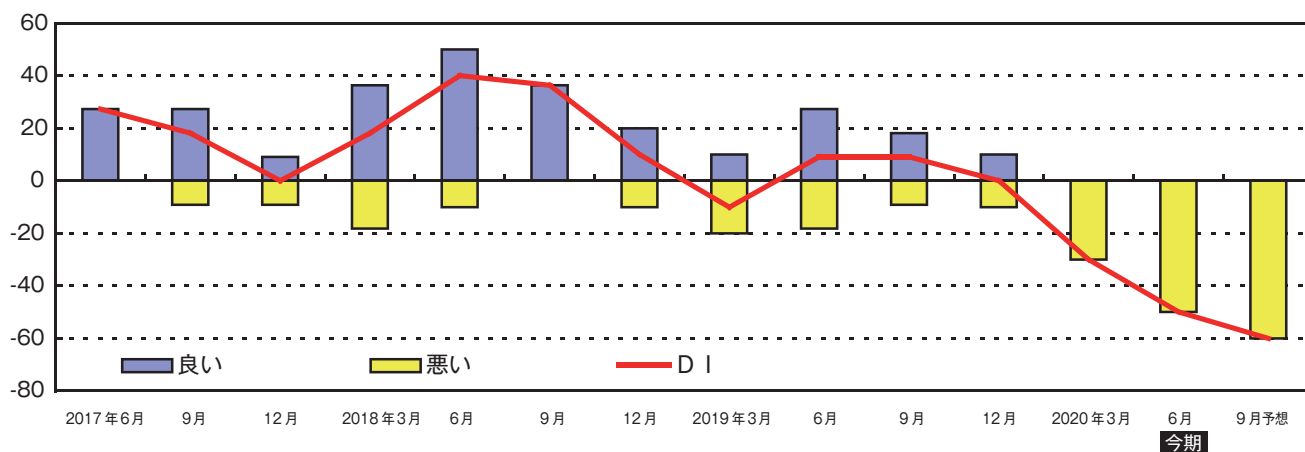
経営上の問題点（上位 5 位）（%）			
	項 目	前 期	今 期
1	売上の停滞・減少	81.5	77.8
2	その他（新型コロナウイルス）	14.8	40.7
3	取引先の減少	11.1	18.5
3	店舗狭小・設備の老朽化	14.8	18.5
5	人手不足	18.5	14.8

当面の重点施策（上位 5 位）（%）			
	項 目	前 期	今 期
1	経費を節減する	51.9	59.3
2	販路を広げる	51.9	44.4
3	その他（新型コロナ対応）	11.1	29.6
4	技術力を強化する	22.2	14.8
5	宣伝・広告を強化する	18.5	11.1

調査員のコメント

- 例年、この時期は売上が上がる時期であるが、新型コロナウイルスの影響により旅館・ホテルからの受注なくまた、一般客からのクリーニングも低調だったことから売上高が大きく減少した。今後も長期的な売上高の減少が続くと予想しており、コインランドリー店舗の設置を進める。（洗濯・理容・浴場業）
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、開催予定のイベント等が全て中止になり、売上は大幅に減少している。営業時間を短縮するなどにより経費を節減して対応している。（その他のサービス業）
- 1年のなかでも繁忙期である3月～4月の受注が新型コロナウイルス感染拡大によりほとんど無かった。弁当やオードブルのテイクアウトを新たに始めるなどを行ったが、微々たる売上げに留まっている。今後、宴会等の受注が回復する中で、感染防止に対するマニュアル作成や従業員教育に対応していく。（その他のサービス業）
- 新型コロナウイルス感染拡大により5月は完全休業した。県境をまたぐ移動自粛が解除され、営業を再開した。しかし、営業再開にあたり、協会が設定したマニュアルに沿った対応を行うことが求められており、人員の確保や従業員教育、新たな器具の購入等大きなコスト増につながると考えている。（旅館、その他の宿泊所）

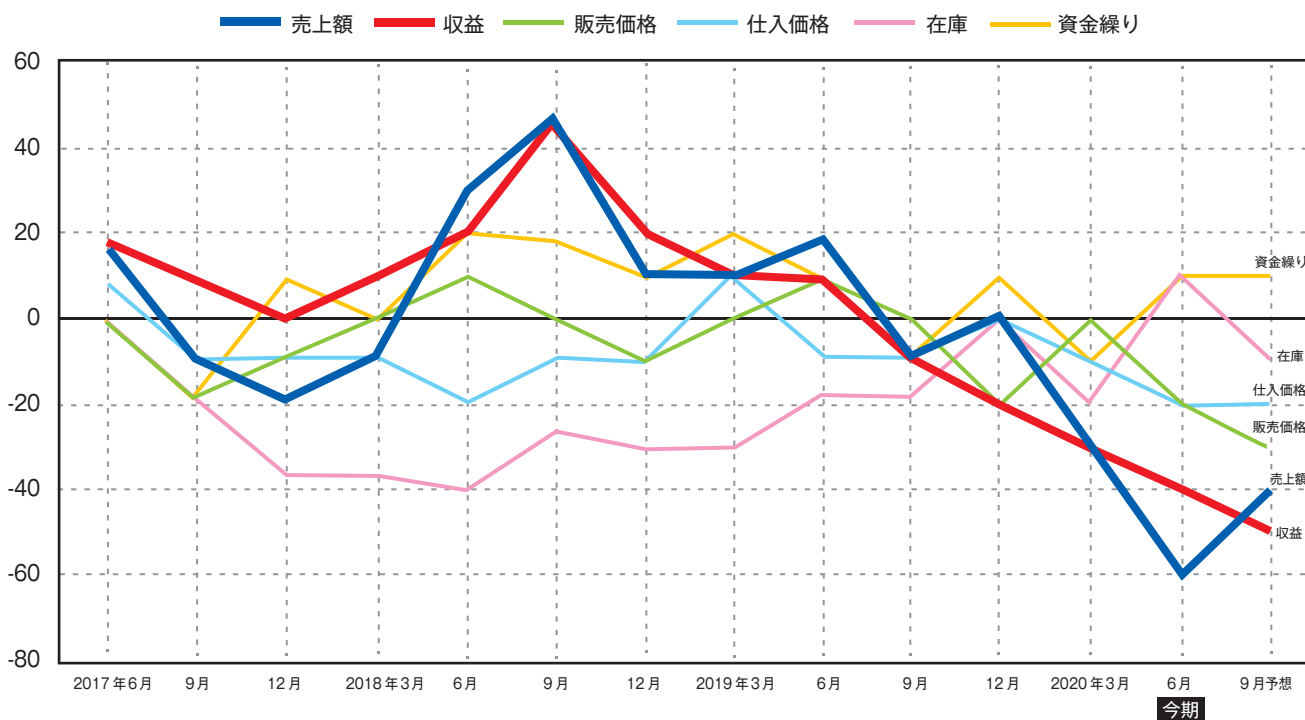
概況判断 業況の悪化が続いている



今期の業況判断は、「良い」と回答した企業は無く、「悪い」と回答した企業は50.0ポイントで、業況D I（「良い」－「悪い」）は▲50.0となり、前期（▲30.0）に比べ（20.0ポイント）マイナス幅が拡大しました。

来期（2020年7～9月）の予想D Iは▲60.0で、今期に比べマイナス幅が（10.0ポイント）拡大し、業況の悪化は強まると見通しています。

売上・収益・価格等の状況



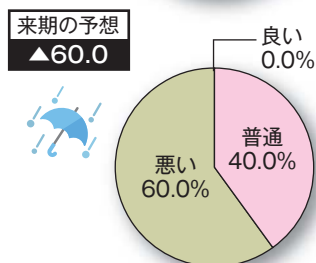
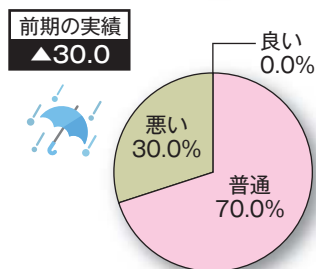
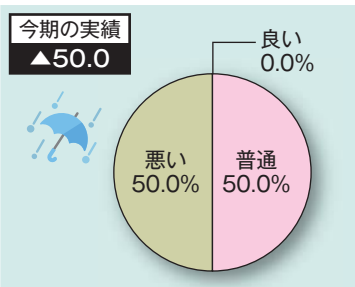
前期（2020年1～3月）に比べ、「売上額」、「収益」共に悪化幅が拡大しました。「販売価格」は下降に転じ、「仕入価格」の下降幅は拡大しました。「資金繰り」については、窮屈感を脱することが出来ました。

来期の見通し

来期（2020年7～9月）は、「売上額」はマイナスながら改善するも、「収益」の悪化幅は拡大すると見通しています。「販売価格」の下降幅は拡大するも、「仕入価格」は変わらないと見通しています。「資金繰り」については容易さが続くと思われています。

業況判断指数(DI値)の動き

(業況判断)



		今期の実績	前期比較	前期の実績	前期時の今期見込	今期見込比較	来期の予想	前年同期実績
業況判断 総合		▲50.0	▲20.0	▲30.0	▲20.0	▲30.0	▲60.0	9.1
内訳	良い	0.0		0.0	0.0		0.0	27.3
	普通	50.0		70.0	80.0		40.0	54.5
	悪い	50.0		30.0	20.0		60.0	18.2
売上額		▲60.0	▲30.0	▲30.0	▲10.0	▲50.0	▲40.0	18.2
収益		▲40.0	▲10.0	▲30.0	0.0	▲40.0	▲50.0	9.1
販売価格		▲20.0	▲20.0	0.0	0.0	▲20.0	▲30.0	9.1
仕入価格		▲20.0	▲10.0	▲10.0	0.0	▲20.0	▲20.0	▲9.1
在庫		10.0	30.0	▲20.0	▲20.0	30.0	▲10.0	▲18.2
内訳	過剰	20.0		0.0	0.0		10.0	0.0
	適正	70.0		80.0	80.0		70.0	81.8
	不足	10.0		20.0	20.0		20.0	18.2
資金繰り		10.0	20.0	▲10.0	10.0	0.0	10.0	9.1
残業時間		▲10.0	0.0	▲10.0	▲10.0	0.0	▲10.0	0.0
人手		0.0	20.0	▲20.0	0.0	0.0	0.0	▲36.4

経営上の問題点・重点施策

経営上の問題点（上位 5 位）（%）			
	項 目	前 期	今 期
1	売上の停滞・減少	50.0	60.0
2	同業者の競争激化	40.0	30.0
2	利幅の減少	0.0	30.0
2	商品物件の不足	50.0	30.0
5	その他（新型コロナ対策）	10.0	20.0

当面の重点施策（上位 5 位）（%）			
	項 目	前 期	今 期
1	情報力を強化する	70.0	60.0
2	販路を広げる	40.0	50.0
3	経費を節減する	30.0	30.0
3	宣伝・広告を強化する	10.0	30.0
5	不動産の有効活用	10.0	10.0

調査員のコメント

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、モデルハウスへの来客や不動産物件の査定が減少している。営業自粛や自宅待機の影響により、収入が減ったことから借家の家賃の引き下げ要請等が目に見えて多くなった。自社の資金繰りもあり、新型コロナウイルス感染拡大の早期終息を期待している。（建売業・土地売買業）
- 地元と仙台市内でテナント物件や貸家等を管理している。新型コロナウイルス感染拡大の影響による家賃滞納などの発生は現在のところ見られないが、今後、長期化した場合には何らかの影響が出てくると予想している。（貸家業・貸間業）
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響については特に感じていない。優良な中古住宅を購入したいという需要はまだ多くあるものの、仕入できる物件の情報が以前に比べ一段と減少している。これまで積極的な営業活動を控えていたが、今後は広範囲な情報収集を行っていく。（建売業・土地売買業）

大型小売店の売上状況

(単位:百万円・%)

	山形県		東北	
	金額	前年同月比増減率	金額	前年同月比増減率
2019/4	11,780	△1.3	96,523	△0.6
5	12,230	0.3	98,970	0.2
6	12,018	1.3	98,671	0.1
7	11,854	△4.7	100,286	△4.9
8	13,202	1.2	106,376	0.8
9	12,191	4.1	101,103	4.8
10	11,346	△3.4	92,857	△5.7
11	11,375	△0.4	98,565	△0.7
12	14,383	△2.9	123,704	△3.1
2020/1	11,773	△3.6	101,453	△2.1
2	10,619	△1.4	93,314	2.9
3	11,681	△6.2	108,982	△4.6
4	11,021	△6.4	99,387	△6.1
5				

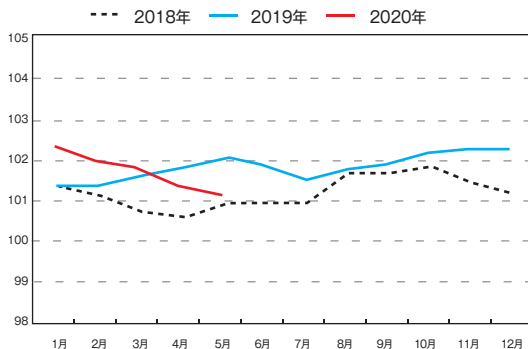
資料：東北経済産業局

(注)イ.対象店舗数に変動があるため前年比は同一店舗比較
ロ.売上高には消費税含む

消費者物価指数の推移

	山形県			全国		
	指数	対前月比上昇率	対前年同月比上昇率	指数	対前月比上昇率	対前年同月比上昇率
2019/4	101.9	0.3	1.2	101.8	0.3	0.9
5	102.1	0.2	1.0	101.8	0.0	0.7
6	101.9	△0.2	0.8	101.6	△0.1	0.7
7	101.6	△0.3	0.5	101.6	△0.1	0.5
8	101.8	0.2	0.1	101.8	0.3	0.3
9	101.9	0.1	0.2	101.9	0.1	0.2
10	102.2	0.2	0.3	102.2	0.3	0.2
11	102.3	0.1	0.7	102.3	0.1	0.5
12	102.3	0.0	1.0	102.3	0.0	0.8
2020/1	102.4	0.1	0.9	102.2	△0.1	0.7
2	102.0	△0.4	0.5	102.0	△0.2	0.4
3	101.8	△0.2	0.1	101.9	0.0	0.4
4	101.4	△0.4	△0.5	101.9	△0.1	0.1
5	101.2	△0.2	△0.9	101.8	0.0	0.1
6						

消費者物価指数（山形県）



(指数:2015年)

2016年7月分から、指数の基準時参照年が2015年に変更になりました。
※2009年3月分で山形県各市の消費者物価指数の公表が終了し、公表が山形市のみにとなったため、2009年4月より、山形市のデータをもって山形県とする。

資料:総務省統計局消費統計課物価統計室

自動車の販売状況

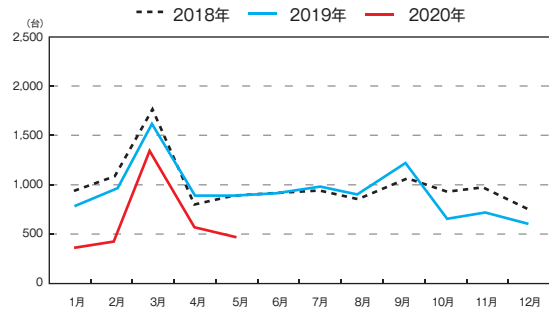
新車販売(登録・届出)台数の推移

(単位:台・%)

	庄内地区						山形県					
	乗用		軽四輪		合計		乗用		軽四輪		合計	
	台数	前年同月比増減率	台数	前年同月比増減率	台数	前年同月比増減率	台数	前年同月比増減率	台数	前年同月比増減率	台数	前年同月比増減率
2019/4	382	△1.3	450	14.8	832	6.8	2,000	4.6	1,696	10.3	3,696	7.1
5	426	5.2	411	3.8	837	4.4	2,089	8.3	1,768	9.6	3,857	8.8
6	435	△17.5	477	22.6	912	△0.4	2,267	△7.4	2,041	3.6	4,308	△2.5
7	517	7.3	465	1.5	982	4.4	2,808	4.2	1,784	△2.7	4,592	11.6
8	413	6.7	393	3.4	806	5.0	2,373	△0.9	1,613	7.1	3,986	12.7
9	550	2.4	628	27.1	1,178	14.2	2,784	5.3	2,415	18.0	5,199	10.8
10	326	△29.1	358	△21.3	684	△25.2	1,586	△29.1	1,417	△26.0	3,003	△27.6
11	362	△23.9	375	△24.1	737	△24.0	1,819	△23.9	1,615	△20.2	3,434	△22.1
12	330	△7.3	304	△19.4	634	△13.5	1,798	△11.2	1,268	△17.2	3,066	△10.7
2020/1	307	△18.8	426	△6.2	733	△4.5	1,531	△19.6	1,376	△19.2	2,907	△19.4
2	430	△16.8	323	△17.2	753	△22.4	1,985	△16.5	1,755	△17.3	3,740	△16.8
3	678	△19.8	660	△14.8	1,338	△17.0	3,361	△17.6	2,741	△14.5	6,102	△16.2
4	311	△18.6	246	△45.3	557	△33.0	1,514	△24.3	1,028	△36.7	2,542	△31.2
5	279	△34.5	199	△51.6	478	△42.8	1,283	△38.5	864	△51.1	2,147	△44.3
6												

資料：庄内自動車検査登録事務所

庄内地区新車販売(登録・届出)台数



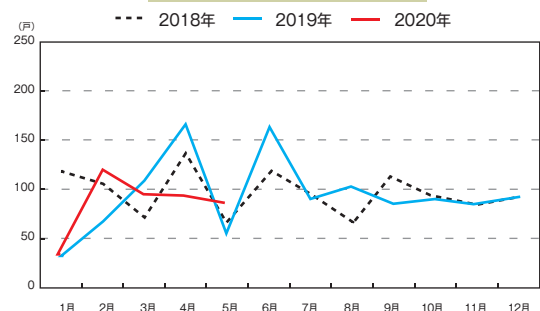
新設住宅着工戸数

(単位:戸・%)

	鶴岡市		酒田市		庄内地区		山形県	
	着工戸数	前年同月比増減率	着工戸数	前年同月比増減率	着工戸数	前年同月比増減率	着工戸数	前年同月比増減率
2019/4	55	41.0	98	81.4	163	22.5	505	△30.1
5	22	△35.2	18	0.0	53	△3.0	555	28.1
6	61	52.5	92	37.3	162	31.7	794	17.8
7	34	△29.1	53	60.6	89	△6.3	457	△2.5
8	69	109.0	32	28.0	102	△47.8	503	△1.9
9	37	△15.9	32	△38.4	76	△36.6	533	△4.1
10	43	10.2	31	△29.5	83	△9.7	368	△31.9
11	46	9.5	20	△0.2	79	1.2	480	△2.6
12	39	21.8	49	11.3	90	1.1	443	△35.6
2020/1	24	26.3	10	11.1	36	12.5	220	△1.3
2	60	114.2	51	96.1	121	86.1	425	11.8
3	51	△8.9	33	△17.5	96	△10.2	414	△19.4
4	59	7.2	28	△71.4	91	△44.1	543	7.5
5	37	68.1	31	72.2	84	58.4	367	△33.8

資料：山形県土木部建築住宅課

新設住宅着工戸数(庄内地区)



求人・求職者の動き

(単位:人・%)

鶴岡	新規求人		新規求職申し込み件数		月間有効求人数		月間有効求職者数	
	人数	前月同月比較増減率	人数	前月同月比較増減率	人数	前月同月比較増減率	人数	前月同月比較増減率
2019/5	1,013	△18.6	578	11.4	3,007	△19.7	2,076	11.1
6	1,092	△17.4	471	△8.9	3,004	△18.9	1,994	9.2
7	1,178	△12.0	563	10.8	3,036	△18.1	1,988	8.6
8	1,004	△16.5	423	△16.1	3,001	△17.5	1,842	0.9
9	1,131	△13.7	517	8.4	3,048	△15.6	1,898	5.2
10	1,073	△16.6	580	5.3	2,984	△16.0	1,959	5.0
11	939	△13.8	456	△6.7	2,959	△14.6	1,932	8.0
12	1,031	△5.1	438	15.6	2,832	△11.3	1,810	9.6
2019/1	1,072	△17.9	574	9.1	2,876	△11.5	1,863	11.6
2	1,027	△15.8	506	△14.5	2,921	△14.2	1,870	3.3
3	1,144	△2.9	633	5.1	3,007	△10.3	2,040	3.2
4	929	△23.3	678	△6.5	2,723	△16.3	2,037	△3.1
5	689	△32.0	472	△18.3	2,364	△21.4	2,009	△3.2
6								

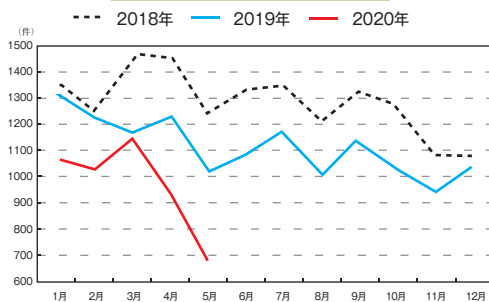
資料:ハローワーク鶴岡

(単位:人・%)

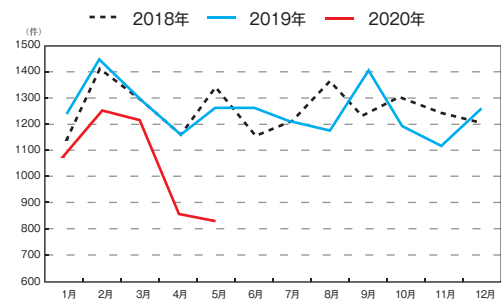
酒田	新規求人		新規求職申し込み件数		月間有効求人数		月間有効求職者数	
	人数	前月同月比較増減率	人数	前月同月比較増減率	人数	前月同月比較増減率	人数	前月同月比較増減率
2019/5	1,263	△5.3	562	△13.8	3,367	△3.3	2,272	△3.7
6	1,262	9.2	561	0.4	3,379	1.4	2,188	△3.1
7	1,204	△0.3	631	11.9	3,361	△0.6	2,251	7.0
8	1,182	△13.2	512	△4.5	3,338	△4.5	2,173	8.5
9	1,400	14.3	547	1.9	3,556	1.1	2,178	9.8
10	1,193	△8.3	637	3.7	3,435	△4.8	2,183	7.5
11	1,106	△10.8	509	3.0	3,420	△3.5	2,138	9.2
12	1,261	4.5	477	7.9	3,307	△3.6	2,020	8.3
2020/1	1,080	△12.4	637	△0.5	3,158	△8.7	2,012	4.8
2	1,256	△13.0	548	△14.2	3,349	△8.8	2,042	△1.3
3	1,209	△6.6	563	△20.5	3,205	△12.4	2,100	△8.2
4	859	△25.5	705	△5.7	2,897	△16.2	2,156	△7.2
5	815	△35.5	520	△7.5	2,310	△31.4	2,165	△4.7
6								

資料:ハローワーク酒田

新規求人数(鶴岡)



新規求人数(酒田)



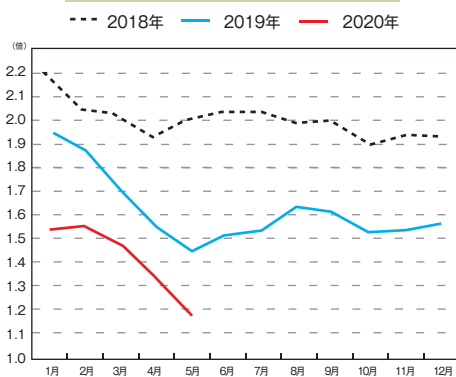
月間有効求人倍率の推移(鶴岡・酒田)

(単位:倍)

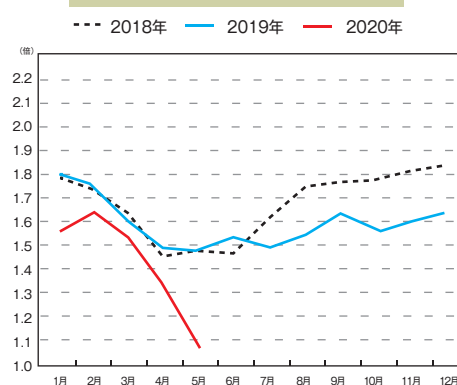
	鶴岡						酒田					
	2018年度		2019年度		2020年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	倍率	対前年同月比	倍率	対前年同月比	倍率	対前年同月比	倍率	対前年同月比	倍率	対前年同月比	倍率	対前年同月比
4月	1.93	0.38	1.55	△0.38	1.34	△0.21	1.46	△0.05	1.49	0.03	1.34	△0.15
5月	2.00	0.35	1.45	△0.55	1.18	△0.27	1.48	△0.10	1.48	0.00	1.07	△0.41
6月	2.03	0.26	1.51	△0.52			1.47	△0.12	1.54	0.07		
7月	2.03	0.21	1.53	△0.50			1.61	0.02	1.49	△0.12		
8月	1.99	0.13	1.63	△0.36			1.75	0.12	1.54	△0.21		
9月	2.00	0.07	1.61	△0.39			1.77	0.08	1.63	△0.14		
10月	1.90	0.00	1.52	△0.38			1.78	0.09	1.57	△0.21		
11月	1.94	△0.11	1.53	△0.41			1.81	0.04	1.60	△0.21		
12月	1.93	△0.18	1.56	△0.37			1.84	0.08	1.64	△0.20		
1月	1.95	△0.25	1.54	△0.41			1.80	0.08	1.57	△0.23		
2月	1.88	△0.16	1.56	△0.32			1.77	0.03	1.64	△0.13		
3月	1.70	△0.33	1.47	△0.23			1.60	△0.03	1.53	△0.07		

(パートを含む常用)
資料:
ハローワーク鶴岡・酒田

月間有効求人倍率(鶴岡)



月間有効求人倍率(酒田)



特別調査 「新型コロナウイルスの感染拡大による中小企業への影響について」

問1.
貴社の事業活動は、新型コロナウイルスによる影響を受けていますか。
次の1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。

	（%）						
	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 営業活動の自粛	24.0	24.6	19.1	27.3	20.7	31.4	21.4
2. 展示会、イベント、商談会等の中止・延期	19.5	15.4	21.3	21.2	22.0	17.6	21.4
3. 国内消費の不振	28.1	32.3	19.1	27.3	31.7	27.5	21.4
4. インバウンド需要の低下	2.7	4.6	4.3	0.0	2.4	2.0	0.0
5. サプライチェーン断等により原材料の調達が困難	2.4	1.5	8.5	3.0	1.2	0.0	0.0
6. 出社困難者の発生	2.1	4.6	0.0	0.0	1.2	2.0	7.1
7. 店舗や工場棟の閉鎖	3.4	0.0	4.3	6.1	1.2	7.8	7.1
8. 取引先の閉鎖等の混乱	6.8	6.2	4.3	6.1	12.2	3.9	0.0
9. その他	3.4	0.0	6.4	0.0	6.1	3.9	0.0
0. 特に影響はなし	7.5	10.8	12.8	9.1	1.2	3.9	21.4

問2.
新型コロナウイルス感染拡大を受けて、貴社ではどのような対応を取られていますか。
次の1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。

	（%）						
	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 生産量・営業時間の縮小	26.4	31.8	2.9	17.4	34.8	31.6	28.6
2. 生産量・営業時間の拡大	1.4	6.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3. 取引条件の見直し	6.8	4.5	2.9	0.0	12.1	2.6	21.4
4. 事業の根本的な見直し	9.1	6.8	8.6	4.3	12.1	13.2	0.0
5. 社員の削減（非正規職員を含む）	2.7	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0
6. パートなど非正規社員の勤務時間削減	4.5	6.8	0.0	13.0	0.0	10.5	0.0
7. 給与やボーナス、手当の削減	3.2	2.3	2.9	4.3	6.1	0.0	0.0
8. 休廃業の検討	10.0	0.0	2.9	0.0	25.8	10.5	0.0
9. その他	5.0	6.8	8.6	4.3	0.0	7.9	7.1
0. 特に対応を行っていない	30.9	34.1	71.4	56.5	0.0	23.7	42.9

問3.
貴社における今期（4～6月）の売上は、仮に新型コロナウイルスの影響がなかった場合（例年の4～6月）と比較して、どの程度変化しましたか。

	（%）						
	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 90%以上の減少	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	14.8	0.0
2. 70%以上 90%未満の減少	5.3	2.9	0.0	0.0	2.1	22.2	10.0
3. 50%以上 70%未満の減少	13.5	5.9	12.9	5.0	20.8	14.8	20.0
4. 30%以上 50%未満の減少	16.5	20.6	9.7	30.0	18.8	7.4	10.0
5. 10%以上 30%未満の減少	27.6	32.4	16.1	30.0	35.4	25.9	10.0
6. ほゞ変化なし（10%未満の増減）	29.4	35.3	48.4	25.0	20.8	11.1	50.0
7. 10%以上 30%未満の増加	4.7	0.0	12.9	10.0	2.1	3.7	0.0
8. 30%以上の増加	0.6	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問4.
貴社では、危機関連保証や制度融資など、新型コロナ対応の資金繰り支援制度を利用しましたか。1～5の中からお答えください。また、資金繰り以外の政府による支援策（補助金、休業補償、減税、納税猶予など）を受けましたか。

	（%）						
■新型コロナ対応の資金繰り支援制度	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. すでに利用した	25.9	23.5	6.5	40.0	25.0	51.9	0.0
2. 申請中である	10.0	11.8	9.7	10.0	10.4	7.4	10.0
3. 今後、利用する可能性がある	29.4	26.5	35.5	25.0	35.4	11.1	50.0
4. 今後も利用するつもりはない	34.7	41.2	48.4	25.0	29.2	25.9	40.0
5. 申請したが、利用できなかった	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
■政府による支援策	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
6. すでに利用した	18.2	20.6	3.2	15.0	16.7	40.7	10.0
7. 申請中である	13.5	14.7	6.5	10.0	22.9	11.1	0.0
8. 今後、利用する可能性がある	38.8	32.4	45.2	50.0	39.6	25.9	50.0
9. 今後も利用するつもりはない	29.4	32.4	45.2	25.0	20.8	22.2	40.0
0. 申請したが、利用できなかった	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問5.
災害や急な不況の対策として、常時、手元の流動性資金の確保をしていると思いますが、貴社では、新型コロナウイルスの影響が出る以前、現預金をどの程度保有していましたか。また、貴社では2020年中の資金繰りについて、どう考えていますか。

	（%）						
■現預金の保有程度	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 売上げの3か月分以上	19.9	21.2	35.5	10.0	16.7	11.1	30.0
2. 売上げの1～3か月分	31.6	39.4	25.8	25.0	29.2	33.3	50.0
3. 売上げの2週間分～1か月分	21.1	15.2	12.9	45.0	31.3	7.4	10.0
4. 売上げの2週間分未満	10.5	6.1	9.7	15.0	10.4	18.5	0.0
5. ほとんど保有していない	7.6	6.1	3.2	5.0	6.3	22.2	0.0
6. 把握していない	8.2	12.1	12.9	0.0	6.3	7.4	10.0
■2020年中の資金繰り	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
7. 不安はない	9.9	12.1	12.9	20.0	8.3	0.0	10.0
8. あまり不安はない	18.7	18.2	38.7	10.0	10.4	11.1	40.0
9. やや不安がある	48.5	60.6	38.7	55.0	56.3	29.6	50.0
0. かなり不安がある	21.6	9.1	9.7	15.0	25.0	59.3	0.0

第184回 中小企業の景気動向

発行所 鶴岡信用金庫
郵便番号 997-0035
山形県鶴岡市馬場町1番14号
電話 0235-22-2360(代表)
担当部 総合企画部
電話 0235-22-2680(直通)
ホームページ <https://www.tsuruoka-sk.jp/>

2020年7月発行